

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	ウチナーネットワークの強化推進		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数(累計)
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
10月30日「世界のウチナーンチュの日」を世界中で沖縄の風土や伝統文化等に想いを馳せる象徴的な日として定着させる様々な取組を実施する。	県	「第7回世界のウチナーンチュ大会」開催	沖縄の移民の歴史や世界に広がるウチナーネットワークについて学ぶ出前講座の実施	
		国内外大会参加者数(オンラインを含む)	出前講座受講者数(累計)	
		8,000人	500人	500人(1,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	世界のウチナーネットワーク強化推進事業			予算事業名	世界のウチナーネットワーク強化推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	24,510	290,592	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	41,947
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
世界のウチナーンチュ大会の開催、世界のウチナーンチュの日の広報・イベントの実施、海外県人会への芸能指導、学校等での出前講座等を実施した。				世界のウチナーンチュの日の広報・イベントの実施、海外県人会への芸能指導、学校等での出前講座、次世代討論会を実施する。		

活動指標名	国内外大会参加者数 (オンラインを含む)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		-	11,101人	429,920人	8,000人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

第7回世界のウチナーンチュ大会を対面に加えオンラインでも実施したことにより目標値を大幅に上回った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・オンラインを中心とした交流を強化することで、海外との往来が困難状況でも関係者と良好な関係を維持し、安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	・オンラインを活用し、沖縄文化芸能の指導や次世代討論会を実施した。併せて、対面式での世界のウチナーンチュの日のイベントや出前講座を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	オンラインを活用して、世界のウチナーンチュと沖縄のウチナーンチュが繋がる機会を増やす必要がある。	⑧ その他	海外県人会とオンラインで繋ぎ、リアルタイムに近い形で県民とウチナーンチュの日の交流ができるよう取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	ウチナージュニアスタディー事業		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数(累計)
施策の方向	<p>・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外県系人子弟を沖縄県に招待し、県内外の生徒と沖縄の自然や文化、歴史等交流体験プログラムを実施することで、将来のウチナーネットワークの構築を図る。	県	県内に国内・海外県系人子弟を招待し、交流事業の継続実施		
		交流人数(累計)		
		33人	33人(66人)	33人(99人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	ウチナージュニアスタディー事業			予算事業名	ウチナージュニアスタディー事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	11,477	11,477	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	12,348
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
海外県系人子弟（中学・高校生）10名、県内の中学・高校生21名、県外高校生2名参加のもと実施した。				海外県系人子弟、県内の中学・高校生、県外高校生の参加を募り、引き続き沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを実施する。		

活動指標名	交流人数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	中止	32人	33人	33人	100.0%	順調	海外県系人子弟、県内の中学・高校生、県外高校生の参加を募り、引き続き沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを実施する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍での実施はオンラインを活用し工夫することにより、従来実施と同規模の交流、すなわち沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを継続的に実施することができたことから順調に進捗しているものとする。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
コロナ禍での実施にあたり、県内参加者・国内参加者は対面、海外参加者はオンラインでの参加とする。令和4年度は第7回世界のウチナーンチュ大会が開催されるため、当事業参加者の大会での登壇を行う。	コロナ禍での実施は、県内参加者・国内参加者は対面、海外参加者はオンラインでの参加とした。令和4年度は第7回世界のウチナーンチュ大会が開催されたため、大会の開会式、県人会長・民間大使会議、閉会式に県内・海外参加者が参加し、宣言を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	コロナ禍にあってもオンラインの活用により効果的な事業を実施できた。	⑧ その他	対面型で実施することにより、本事業の更なる魅力を周知する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	国内外の県人会との連携		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数(累計)
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県人会式典等の参加、関係機関の訪問・交流を行い、世界のウチナーネットワーク継承や次世代の担い手の育成に取り組む。	県	国内外県人会式典等への参加や県人会との情報交換を通じたネットワークの形成		
		式典等への県の参加件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	海外移住記念事業			予算事業名	海外移住記念事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	334	2,319	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	8,900
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>コロナ禍のため海外周年事業や恒例のイベントへの対面での参加はできなかったが、知事ビデオメッセージ等を海外県人会へ送付した。</p>				<p>日本・ハワイ姉妹州・姉妹都市サミットへの参加。</p>		

活動指標名	式典等への県の参加件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	0件	2件	0.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍にあり対面交流が実現できなかったものの、知事のビデオメッセージ等を海外県人会に送付する等、県人会とのつながりを維持する取組を行っていることから、進捗状況は順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>コロナ禍にあり対面交流が難しい状況であるが、知事のビデオメッセージ等を海外県人会に送付する等、県人会とのつながりを維持する取組を行う。</p>	<p>ブラジル・カンポグランデ沖縄県人会設立100周年記念事業へ知事祝辞をビデオメッセージで送り、アルゼンチン・在亜沖縄県人連合会へ設立70周年記念式典へ感謝状を送り、沖縄との繋がり・関係性を維持した。</p>



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	コロナ禍で訪問が実現できなかったことについては、知事のビデオメッセージを送付し、県人会とのつながりを維持する取組を行った。	⑧ その他	対面交流が再開されることを想定し、従前の交流再開に向けて取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○育成人材等の相互交流、情報発信等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（育成人材等を対象とする相互交流）		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、JICA等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外県系子弟と沖縄県の青少年が互いに交流、研鑽する場を設けることにより、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	県系子弟等留学事業OB・OG等を対象とするオンライン等を活用した相互交流		
		参加者数(累計)と参加国・地域数		
		200人、6カ国・地域	200人(400人)、6カ国・地域	200人(600人)、6カ国・地域
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ			予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	58,463	55,676	県単等	委託	71,392
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
ウチナーンチュ等子弟留学生の受入、県内と海外の若者同士の交流、県内と国内の若者同士の交流等を実施した。				ウチナーンチュ等子弟留学生の受入、県内と海外の若者同士の交流、県内と国内の若者同士の交流等を実施する。		

活動指標名	参加者数(累計)と参加国・地域数		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-	542人	24,000人以上	200人	100.0%	順調	ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。オンラインも含めた交流事業を実施した。
活動指標名	参加者数(累計)と参加国・地域数		R4年度				
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-	6ヶ国以上	6ヶ国以上	6カ国・地域	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
第7回世界のウチナーンチュ大会と連携した取組を実施したことにより、参加人数及び参加国が大幅に増えた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
オンラインを中心とした交流を強化することで、海外との往来が困難な状況でも関係者との良好な関係を維持し、安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んで行く。	留学生と県内外の若者同士の交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化に繋がった。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化により留学生の受入に影響を受けることから、その変化を見極めつつ、海外と本県との交流を促進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○育成人材等の相互交流、情報発信等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーネットワークの多言語情報発信）		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、JICA等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営及びSNS等での情報発信を行う。	県	WEB・SNS等によるウチナーネットワークの多言語情報発信		
		多言語情報の発信数(累計)		
		50件	50件(100件)	50件(150件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ			予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	58,463	55,676	県単等	委託	71,392
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営及びSNS等で情報発信した。				「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営及びSNS等で情報発信する。		

活動指標名	多言語情報の発信数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	108件	43件	50件	86.0%	順調	「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営し、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の多言語で情報発信した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>育成人材等の相互交流に関する情報を適宜発信した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>他の機関が実施するイベントなども幅広く掲載し、アクセス数の増に取り組む。</p>	<p>他の機関が実施するイベントなども幅広く掲載し、アクセス数の増に取り組んだ</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「世界のウチナーネットワーク」サイトの認知度を高める取組が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	JICA沖縄や県立図書館など世界のウチナーンチュと関連するイベント情報を幅広く掲載するとともに可能な限り多言語での発信に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの 継承・発展	施策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○本県出身移住者子弟等の受入れ、海外派遣による県系人との 交流等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（海外 県系人子弟留学生の受入）		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外県系子弟等留学生を受け入れ、世界のウチ ナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	海外県系人子弟等の県内大学等への留学受入れによる、県民との交流や生活を通じた文化・歴史等の 学習		
		受入人数(累計)		
		10人	10人(20人)	10人(30人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ			予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	58,463	55,676	県単等	委託	71,392
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
ウチナーンチュ等子弟留学生を7名受け入れ、県内大学や研修機関に留学した。				ウチナーンチュ等子弟留学生を10名受け入れ、県内大学や研修機関に留学させる。		

活動指標名	受入人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	2人	7人	10人	70.0%	概ね順調	ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
新型コロナウイルス感染症の影響等により航空券等の価格が高騰したため、受入人数が目標値を下回った。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
・オンラインを中心とした交流を強化することで、海外との往来が困難な状況でも関係者との良好な関係を維持し、安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んで行く。	・留学生と県内外の若者同士の交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化に繋がった。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化により留学生の受入に影響を受けることから、その変化を見極めつつ、海外と本県との交流を促進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの 継承・発展	施策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○本県出身移住者子弟等の受入れ、海外派遣による県系人との 交流等
主な取組	海邦養秀ネットワーク構築事業		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数(累計)
施策の方向	・本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県の若い世代を海外に派遣し、国際感覚に 富む人材を育成するとともに、現地の県系人、特に 若い世代との交流を通して相互の絆の強化に努め る。□	県	県内学生を海外県人会宅に派遣し、ホームステイ等を通じた交流事業を実施		
		派遣人数(累計)		
		21人	10人(31人)	10人(41人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業			予算事業名		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担	3,289	3,500	主な財源	実施方法	当初予算額
				—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、ハワイ州と県内若者とのWEBを活用したオンライン交流を実施した。						

活動指標名	派遣人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		0人	25人	20人	21人	95.2%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の派遣はできず、オンラインを活用したプログラムに変更した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・新型コロナウイルス感染症の影響により海外派遣ができない中でも、オンラインを活用するなど工夫を凝らしたプログラムとすることで、若者同士の交流を維持し、安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	・県内と海外の若者同士の交流、県内と国内の若者同士の交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化に繋げる。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化を見極めつつ、海外と本県との交流を促進する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	コロナ禍で活用したオンラインプログラムのメリットを享受しつつ、本来の対面形式の交流を実施し、安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施策	①在住外国人等が住みやすい地域づくり
			施策の小項目名	○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等
主な取組	在住外国人の生活支援		対応する成果指標	在留外国人数
施策の方向	<p>・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
外国人が地域住民として直面する諸課題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施する。	沖縄県国際交流・人材育成財団	外国人が地域住民として直面する諸課題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施		
		法律・生活相談対応件数(累計)		
		70件	70件(140件)	70件(210件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	<a href="https://kokusai.oihf.or.jp/">https://kokusai.oihf.or.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金			予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	18,747	18,747	県単等	補助	20,716
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
多言語による生活・法律相談を実施した。				多言語による生活・法律相談を実施する。		

活動指標名	法律・生活相談対応件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	147件	266件	220件	70件	100.0%	順調	多言語による生活・法律相談を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値を上回る相談件数があったことは評価出来る。一方、相談件数が多いということは在住外国人の直面する課題が多いともいえる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
在住外国人の法律・生活相談で把握したニーズにきめ細かに対応できるよう情報収集や情報提供に努める。	在住外国人の多岐、多様な法律・生活相談にきめ細かに対応していく。ウクライナ避難民の相談窓口として対応していく。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	在住外国人の法律・生活相談で対応した事案について、出身地域や、内容を類型化して集計し、ニーズを把握する。	⑥ 変化に対応した取組の改善	把握したニーズにきめ細かに対応できるよう情報収集や情報提供に努めていく。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施策	①在住外国人等が住みやすい地域づくり
			施策の小項目名	○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等
主な取組	リーガル・ライフサポーターの養成		対応する成果指標	在留外国人数
施策の方向	・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
在住外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応することができる「リーガル・ライフサポーター」を育成する。	沖縄県国際交流・人材育成財団	外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応することができる「リーガル・ライフサポーター」の育成		
		リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者数(累計)		
		10名	10名(20名)	10名(30名)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】	関連URL	<a href="https://kokusai.oihf.or.jp/">https://kokusai.oihf.or.jp/</a>	

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金			予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	18,747	18,747	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	20,716
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
リーガル・ライフサポーター養成講座を開催した。 リーガル・ライフサポーター認定テストを実施した。				リーガル・ライフサポーター養成講座を開催する。 リーガル・ライフサポーター認定テストを実施する。		

活動指標名	リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	25名	40名	8名	10名	80.0%	概ね順調	リーガル・ライフサポーター養成講座を開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
リーガル・ライフサポーター養成講座の修了者を対象に多言語で認定テストを実施し、合格者が3名でたことは評価出来る。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
在住外国人の法律・生活相談で把握したニーズに対応出来る専門的通訳者の養成に努める。	「法律・生活相談」の専門的通訳者を希望しそのスキルのある人材は限られているが、必要な人材を着実に養成している。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	在住外国人の法律・生活相談で対応した事案について、出身地域や、内容を類型化して集計し、ニーズを把握する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	把握したニーズに対応出来る専門的通訳者の養成に努めていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施策	①在住外国人等が住みやすい地域づくり
			施策の小項目名	○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等
主な取組	災害時外国人支援サポーターの養成		対応する成果指標	在留外国人数
施策の方向	・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成する。	沖縄県国際交流・人材育成財団	防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成		
		災害時外国人支援サポーター養成講座の修了登録者数(累計)		
		30名	30名(60名)	30名(90名)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	<a href="https://kokusai.oihf.or.jp/">https://kokusai.oihf.or.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金			予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	18,747	18,747	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	20,716
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
災害時外国人支援サポーター養成講座を開催した。				災害時外国人支援サポーター養成講座を開催する。		

活動指標名	災害時外国人支援サポーター養成講座の修了登録者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	49名	28名	43名	30名	100.0%	順調	災害時外国人支援サポーター養成講座を沖縄本島、宮古島で開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
R4年度末時点での災害時外国人支援サポーターの登録者数は211名となり評価できる。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>全国で大規模な災害が頻発する中で県民の防災意識は高まっているが、災害時の在住外国人、海外旅客への対応について県民の防災意識が高まっているとは言えない。災害時外国人支援サポータースキルアップウェビナー、災害時に役立つ「やさしい日本語」ウェビナー、避難所運営訓練・避難所体験会、災害危機管理ウェビナー等の開催により県民の防災意識の啓発に努める。</p>	<p>「防災・減災」に対する意識を高め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人へ寄り添うことができる人材を本島や離島において着実に養成している。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	<p>全国で大規模な災害が頻発する中で県民の防災意識は高まっているが、災害時の在住外国人、海外旅客への対応について県民の防災意識が高まっているとは言えない。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>災害時外国人支援サポータースキルアップウェビナー、災害時に役立つ「やさしい日本語」ウェビナー、避難所運営訓練・避難所体験会、災害危機管理ウェビナー等の開催により県民の防災意識の啓発に努める。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり
主な取組	多文化共生社会に向けた県民向けの取組		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施する。	県	多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施		
		シンポジウム・ワークショップ等の開催数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	多文化共生推進調査事業			予算事業名	多文化共生推進調査事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	6,499	189	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	6,397
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県へ避難したウクライナ避難民に対する支援のため、避難民支援を実施している関係機関と連携体制を整えた。□				県内在住外国人が安心して生活できる環境づくりを行うため、市町村や関係団体と連携した多文化共生社会の地域づくりを推進する。		

活動指標名	シンポジウム・ワークショップ等の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	5回	2回	2回	2回	100.0%	順調	当初の計画から変更し、沖縄県へ避難したウクライナ避難民への対応のため、避難民支援を実施している関係機関と連携し、支援体制を整えた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

当初の計画から変更し、沖縄県へ避難したウクライナ避難民への対応業務を実施した。避難民支援に関する意見交換会や避難民支援を実施した企業等への感謝状贈呈式を開催し、県内在住外国人であるウクライナ避難民が安心して生活できる環境づくりを行った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「おきなわ多文化共生推進指針」の改訂に向け、総務省プラン「多文化共生推進プラン」の内容や、現指針の推進団体(市町村・国際交流関係団体、NPO法人)等の意見を踏まえながら検討を進める。	令和4年度は、当初の計画から変更し、ロシアによるウクライナ侵攻の激化に伴い、沖縄県へ避難したウクライナ避難民への対応のため、国や市町村、県内で積極的に避難民支援を実施している関係機関と連携し、きめ細かな対応を行うための支援体制が整備された。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や、新型コロナウイルス感染症に係る入国制限の緩和等により在留外国人数が再び増加しているなど、県内在住外国人を取り巻く環境が大きく変化している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	県内在住外国人が安心して生活できる環境づくりを行うため、引き続き市町村や関係団体と連携した多文化共生社会の地域づくりを推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり
主な取組	おきなわ国際協力・交流フェスティバルとの連携		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民の国際協力・交流に関する理解促進のため、JICA主催の国際協力・交流活動の紹介等に県も積極的に協力する。	県,市町村,JICA沖縄,沖縄県国際交流・人材育成財団	JICA沖縄及び関係団体と連携した、フェスティバルへの参加、広報等への協力		
		フェスティバルの共催承認、イベント等への参加		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
フェスティバルへの県の共催の実施、及びポスター設置等による各種広報を行った。				フェスティバルへの県の共催を実施し、ポスター設置等による各種広報を行う。開催が11月下旬の予定のため、9月を目処に広報計画を立て実施する。		

活動指標名	フェスティバルの共催承認、イベント等への参加		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		実施	実施	実施	実施	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

JICA沖縄主催の国際協力・交流フェスティバルについて、令和4年度は10月29日(土)に開催された。JICA沖縄ホームページのアクセス数は2,683件であった。主催者実施のアンケートでは来場回答者の9割が同フェスティバルを大変良かった、良かったとしており県民の国際協力・交流への理解促進に寄与したものとする。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
世界のウチナーンチュの日の関連イベントでの告知など、効果的な広報の方法についてJICAと連携しながら進める。 フェスティバルでの県が作成するコンテンツや県Webサイトについて、県民に感心を持ってもらえるよう、普段からの情報発信を強化し、アクセス数や閲覧者数を増加させる。	世界のウチナーンチュの日の関連イベントでの告知など、JICA沖縄と連携しながら効果的な広報を行った。県の広報媒体も多く活用した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度のフェスティバルは、コロナ禍のオンライン開催を経て、3年ぶりの来場型開催となり、オンライン配信を行った。来場者増加のためにも常に効果的な広報を検証し実施する必要がある。	⑧ その他	JICA沖縄との更なる連携による広報手法・時期等の検証、実施を進めていく。広報メッセージについても来場者から特に関心の高かったイベントを大きく取り上げる等、工夫していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり
主な取組	国際交流員による異文化理解促進		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内小・中・高校へ国際交流員を派遣し、異文化の紹介を行う出前授業等を実施する。	県,自治体国際化協会 沖縄県支部	県内小・中・高校へ国際交流員を派遣し、異文化の紹介を行う出前授業・出前講座等の実施		
		学校訪問の実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 外国青年招致事業□				予算事業名 外国青年招致事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	39,786	41,765	県単等	直接実施	45,423
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
出前講座を実施し、国際交流員による文化紹介、交流等を通じて、県内の学生の国際理解の向上を図った。□				令和5年度も引き続き、県内学校からの派遣要請等に応じ、国際交流員による出前授業を行う。		

活動指標名	学校訪問の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	13回	19回	10回	100.0%	順調	県内各地の小中高校及び特別支援学校へ国際交流員を派遣し、海外文化を紹介する授業を実施することで、学生の異文化理解の促進を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

これまで新型コロナウイルス対策のため様々な制限があったが、令和4年度は対面での出前授業が再開出来る状況となったことから、出前授業の実施を希望する学校が増加したことが考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度 of 取組改善案	反映状況
対面の派遣だけでなく、オンライン交流による異文化交流が出来ないか検討していく。	募集の際、出前授業のオンライン開催でも対応可能とした。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	学校訪問の回数が増え、学校毎に授業内容に対するニーズが多様化している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	出前授業の実施後に振り返りを行い、学校それぞれに適切な授業内容となるよう改善を行っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-イ	多文化共生社会の構築	施策	②県民の異文化理解・国際理解の促進
			施策の小項目名	○在住外国人の日本語による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進
主な取組	外国人による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進		対応する成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数）
施策の方向	・県内に在住する外国人に、国際交流・国際親善、日本・沖縄の社会や文化等について日本語で意見を発表する場を提供し、共生社会のあり方を互いに考え合う機会をつくり出すことにより、県民の異文化理解・国際理解の促進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県国際交流・人材育成財団が主催する日本語弁論大会での審査員、広報等へ協力する。	県、沖縄県国際交流・人材育成財団	沖縄県国際交流・人材育成財団が主催する、日本語弁論大会での審査員、広報等への協力		
		日本語弁論大会の共催承認、県知事賞(賞状)の授与、審査員での参加等		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	<a href="https://kokusai.oihf.or.jp/">https://kokusai.oihf.or.jp/</a>



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金			予算事業名	沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	18,747	18,747	県単等	補助	20,716
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
第40回外国人による日本語弁論大会を開催した。				第41回外国人による日本語弁論大会を開催する。		

活動指標名	R4年度					進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
日本語弁論大会の共催承認、県知事賞(賞状)の授与、審査員での参加等							
実績値	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	日本語弁論大会の共催承認や県知事賞(賞状)の授与、審査員としての参加等を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
県内に在住する外国人へ国際交流・国際親善や日本・沖縄の社会や文化について日本語で発表する機会を提供し、相互理解の増進と友好親善を促進したことは評価できる。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
感染症拡大防止策の実施結果を検証し、来場者数を制限しないで開催する場合の対策を検討することで、安全安心な大会実施に務める。	メディアでも報道され県民の理解も深まっている。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	3年振りに有観客で実施し、感染症拡大防止のため、来場者数の制限、来場者事前予約制、QRコードによる受け付け改札を導入し安全安心な大会実施に務めた。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	感染症拡大防止策の実施結果を検証し、来場者数を制限しないで開催する場合の対策を検討することで、安全安心な大会実施に務める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	各市場での誘客プロモーションの展開		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
欧米やシンガポール、タイ、マレーシアなどの東南アジア、台湾、中国本土、韓国、香港から外国人観光客を誘客することを目的に、旅行博への出展や商談会開催、各市場特性に応じたプロモーションを展開する。	県	航空路線拡充の支援、Be.Okinawaブランディング、各市場でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数		
		14箇所	14箇所	14箇所
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光グローバル事業			予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	403,286	373,799	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	643,185
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
プロモーション実施地域数は、14箇所の目標値に対して、15箇所の実施となった。				プロモーション実施地域数は、14箇所の実施を計画している。		

活動指標名	プロモーション実施地域数		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		20箇所	14箇所	15箇所	14箇所	100.0%	順調

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>委託事業者及び県海外事務所、観光委託駐在員（英国、仏、独、豪に設置）と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した。令和4年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は3路線（台北、香港、仁川）、12社運航となり、外国人観光客は3年ぶりに皆増の20万100人となった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際線の再開に向けて、引き続きCIQ等の関係機関や庁内の関係部局と連携して取り組んでいく。</li> <li>コロナ収束後を見据え、引き続き県海外事務所や観光委託駐在員の現地機能、オンラインを活用したプロモーションを実施するとともに、Be. Okinawaブランディングの強化や富裕層プロモーションを強化し量から質への向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の動向等も踏まえ、県は、令和4年5月25日に那覇空港国際線の再開について国に要請を行い、那覇空港国際線は6月末までに国による検疫体制等の整備が完了した。</li> <li>那覇空港国際線の再開及び路線回復により、令和4年度の外国人観光客数は20万100人となり、新型コロナウイルス感染症以降、初めて皆増に転じた。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	運休となっている路線の回復に向けて、航空会社への働きかけが必要である他、新規の航空会社が沖縄路線の開設に関心を示している。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	今後の訪日旅行需要の高まりにより、国内外の観光地においてインバウンド誘客の動きが本格化することが見込まれる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、路線回復に繋げる必要がある。
② 連携の強化・改善	県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者と共同出展を呼びかけ官民一体となった誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	MICE誘致の実施(コンベンション)		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	<p>・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内大学等と連携し、国内学会や国際会議の誘致・開催支援を行う。	県,OCVB	国際会議の誘致		
		国際会議件数(累計)		
		3件	12件(15件)	26件(41件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://mice-dev.okinawastory.jp/">https://mice-dev.okinawastory.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国内・国際学会等の開催に対して、貸切バスや開催歓迎等の支援を実施した。				県内・県外大学などローカルホストへのサポート等も実施のうえ、引き続き国内・国際学会等の開催に対して、貸切バスや開催歓迎等の支援を実施する。		

活動指標名	国際会議件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	10件	4件	9件	3件	100.0%	順調	大学などローカルホストへのサポート、学会、FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展などを実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響学会については特に対面形式とオンラインを活用したハイブリッド方式による開催が進んだことにより、実績が目標を上回ったと思慮される。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、今後も学会についてはオンラインの活用が継続されていくと見込まれており、個別の学会誘致に当たってはオンラインニーズについても確認しながら進めていく。	学会誘致に向けての大学等の個別訪問に際し、オンラインニーズ等について確認しているところである。商談会等においてもオンラインニーズを確認のうえ、県としての支援のあり方を検討、提案する。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	学会のオンラインニーズへの対応について、他府県でMICE施設の建設が相次いでおり、オンラインへの対応について他府県と本県を比較のうえ、本県の環境を整えていく必要がある。	② 連携の強化・改善	直近の対応としては、民間宿泊施設等と協力のうえ、官民で補完して対応していく。 その後は、予定している大型MICE施設へ必要な通信設備を備えることを検討していく。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	スポーツコンベンション誘致戦略推進		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	<p>・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際大会誘致やアジア等で開催される大会の事前合宿を視野にスポーツコンベンションの誘致を進めるため、受入希望市町村と連携し、スポーツキーパーソン招聘や合宿実証等に取り組む。	県,市町村,スポーツコミッション沖縄	スポーツコンベンションの誘致		
		スポーツ団体合宿実証件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業			予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	66,690	57,599	一括交付金 (ソフト)	委託	66,835
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
スポーツコンベンション誘致拡大のため、スポーツキーパーソン招聘2件、スポーツ団体合宿実証9件、スポーツコンベンション誘致広報活動を行った。				スポーツコンベンション誘致拡大のため、スポーツキーパーソン招聘6件、スポーツ団体合宿実証9件、スポーツコンベンション誘致広報活動を行う。		

活動指標名	スポーツ団体合宿実証件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	4件	5件	9件	10件	90.0%	順調	スポーツキーパーソン招聘やスポーツ団体合宿実証を通して、合宿実施における課題検証を行い、合宿受入体制の強化を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

対象団体の都合により直前で中止となった合宿も1件あったが、順調に実施できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
スポーツコンベンション誘致受入の全域的な拡大に向けて、「スポーツコミッション沖縄」を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーにおける支援内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したセレモニー内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。	「スポーツコミッション沖縄」を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、競技毎に必要なとされる施設・機器、施設改修の必要性、宿泊施設における条件、地元交流等の課題を細かく検証し、合宿誘致・定着に向けた受入体制の強化を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新たな集積可能性が見込める合宿(競技)の検討が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	離島における合宿実施、女性スポーツ、障害者スポーツ、競技人口増が予想されるアーバンスポーツ等の合宿実証を積極的に進め、課題検証を通して誘致拡大を図る。
⑦ その他(改善余地の検証等)	地理的優位性を生かした誘致戦略、他エリアとの差別化戦略の検討が必要である。	⑧ その他	海外チームの誘致や、医療やウェルネスとも連携したメンタル及びフィジカルリカバリー等、サポート体制構築による沖縄ならではの強みを生かし、「スポーツアイランド沖縄」の形成に寄与する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○姉妹提携等に基づく交流、地域間交流の促進
主な取組	海外友好姉妹都市等からの留学生受入		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU（連携覚書）締結など地域間交流を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外県系子弟と沖縄県の青少年が互いに交流、研鑽する場を設けることにより、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	海外友好姉妹都市等から留学生を受け入れ、県内大学や企業等で就学・研修等の実施		
		海外友好姉妹都市からの留学生受入人数(累計)		
		2人	2人(4人)	2人(6人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ			予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の1つ	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	58,463	55,676	県単等	委託	71,392
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
ウチナーンチュ等子弟留学生を7名(うち、海外友好姉妹都市から1名)受け入れ、県内大学や研修機関に留学した。				ウチナーンチュ等子弟留学生を10名(うち、海外友好姉妹都市から3名)程度を受け入れ、県内大学や研修機関で留学させる。		

活動指標名	海外友好姉妹都市からの留学生受入人数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0人	2人	1人	2人	50.0%	大幅遅れ	ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。友好姉妹都市であるハワイから1名受け入れた。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
新型コロナウイルス感染症の影響等により航空券等の価格が高騰し、受入人数を制限する必要があったため目標値を下回った。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
・オンラインを中心とした交流を強化することで、海外との往来が困難な状況でも関係者との良好な関係を維持し、安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んで行く。	・留学生と県内外の若者同士の交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化に繋がった。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化により留学生の受入に影響を受けることから、その変化を見極めつつ、海外と本県との交流を促進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○姉妹提携等に基づく交流、地域間交流の促進
主な取組	沖縄県・市町村国際交流連絡会議の実施		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	<p>・東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU（連携覚書）締結など地域間交流を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各市町村、関係機関、沖縄県の連絡協議会を年1回以上実施し、各自治体における国際交流事業等について情報共有と意見交換を行う。□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	県,市町村	海外との交流を促進するため、県と市町村間の情報交換、意見交換の実施		
		沖縄県・市町村国際交流連絡会議の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課 【 098-866-2479 】	関連URL	—	

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	世界の沖縄ネットワーク強化推進事業 世界の沖縄ネットワーク強化推進事業 世界の沖縄ネットワーク強化推進事業			予算事業名	世界の沖縄ネットワーク強化推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	直接実施	2,451,000 の一部	290,592,000の一部	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	直接実施	41,947,000の一部
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行った。				各市町村、関係機関と10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行う。		

活動指標名	沖縄県・市町村国際交流連絡会議 の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0回	0回	1回	1回	100.0%	順調	10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行った。



様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
コロナ禍であったためハイブリット形式で会議を実施した結果、25の市町村（関係機関含め38名）から参加があった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
コロナ禍でも参加できる環境を整備する。	ハイブリット型で会議を実施した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	世代交代が進む中、日本語が上手く使えない海外移住子弟等が増え、彼らとの国際交流の機会が減っていることを主な理由として本会議への参加市町村数も少ない状況になっていると思慮される。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	県及び市町村が取り組んでいる国際交流事業の共有を図り、近隣市町村同士や県及び市町村など広域で取り組める国際交流を考えるなど気軽に参加しやすいテーマを模索する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・文化は交流により育まれ、互いの文化を理解し合うことにより発展するため、国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化資源を活用した体験プログラムを構築し、実施する。	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	—	27,409	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	26,050
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞とワークショップを実施した。遡及動画を制作しYoutubeで配信した。				新たに選定した文化団体を県内施設へ派遣し、上演とワークショップを開催する。		

活動指標名	文化体験プログラムの実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		0回	0回	6回	10回	60.0%	やや遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光施設や宿泊施設において、文化体験や芸能公演をコンテンツとして活用した誘客を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	旅行業関係者への演舞披露や、文化芸能セミナー、両者による交流会を開催した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	イベント時期に派遣依頼が重なり、演者派遣を対応できないことがあった。	② 連携の強化・改善	演者同士の繋がりや、派遣時期を早めに調整するなどし、実施回数目標値を達成できるよう努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策の効果的な推進
主な取組	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業（歴史・文化ワークショップ）		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・県民が沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進し、沖縄の文化の継承と発展に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
歴史・文化に関するワークショップを実施する。	県,市町村,民間団体	歴史・文化ワークショップ等の実施		
		歴史・文化ワークショップ等への参加者数(累計)		
		60名	60名(120名)	60名(180名)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業			予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	12,823	10,155	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	17,752
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。				琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。		

活動指標名	歴史・文化ワークショップ等への参加者数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	60名	60名	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ワークショップ等を実施したことにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解が深まった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	県立博物館・美術館の企画展と連動したワークショップを実施したことにより、企画展及びワークショップ双方の参加者増につながる取組となった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和3年度から同取組を行っているが、「琉球歴史文化の日」の県民の認知度が低い。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、ワークショップ等を実施するとともに、情報発信を強化していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	4,340	4,500	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	4,500
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
京都芸術劇場において、「琉球舞踊と組踊」上演、ワークショップ開催した。				福岡県、岡山県において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。		

活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による 伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1公演	1公演	1公演	1公演	100.0%	順調	京都芸術劇場において、「琉球舞踊と組踊」を上演し、ワークショップ開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
公演前のワークショップや、組踊の歴史解説、楽器・小道具を紹介し、沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチが出来た。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
感染症対策の中、ワークショップでは主催者側による制限なども行われたが、アンケートでは、また機会があれば鑑賞したいとの声も多かった。	ツーリズムEXPOジャパン2022において、ステージでの組踊りと琉舞の実演解説と、展示ブースにて、三板・四つ竹の体験、パネル展示・パンフレット配布を旅行会社バイヤー向けに実施した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国内のみならず、国外に向けても沖縄伝統芸能の魅力を発信し、観光コンテンツとしての認知度向上を図る。	⑤ 情報発信等の強化・改善	VISIT JAPANトラベル&MICEマートが同時開催される、ツーリズムEXPO会場内で、旅行会社バイヤー向け情報発信や、演舞実演で沖縄伝統芸能の魅力を発信する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	<p>・国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発進力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、世界で活躍できる人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域の文化芸術振興事業			予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	0	4,000	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	4,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、県外公演として東京都で琉球舞踊を1公演実施し、230名が参加した。				令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施する予定である。		

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		0公演	0公演	1公演	1公演	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナの感染状況等を注視し、公演開催が困難な場合の代替策として動画配信等の準備を行いつつ、事業を実施した。大都市である東京都で本県の伝統芸能を発信する機会を創出でき、盛況であった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・新型コロナウイルス感染症蔓延等社会情勢の変化に柔軟な対応ができる団体へ委託することで、引き続き県民の鑑賞機会の提供を行う。	・企画提案仕様書に公演実施が困難な場合の代替策を提案するよう盛り込んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	事業応募件数が少なかった。(1団体)	⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の公募について、広報周知の強化を行い、応募団体数を増やす。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	既存の民間主体の舞台公演も多数実施されている地域において、文化力の発信強化に繋がったのか検証が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	昨年度実績ベースの客席数200席を条件とし、大都市圏以外での開催も可能とする。
		⑧ その他	公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	<p>・国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能の海外公演	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		
		—	1公演	1公演(2公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域の文化芸術振興事業			予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	0	0	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	14,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えた。				文化の発信力強化、文化交流の拡大、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を1回開催し、県内の文化芸術団体を派遣する。		

活動指標名	文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0公演	0公演	0公演	—	0.0%	順調	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

実施計画においても、令和4年度は目標値を設定していないため、進捗状況としては順調とした。令和4年度は県外公演を実施し、本県文化の発信力強化や人材の育成に効果があったものと考えている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化の更なる振興、世界で活躍できる人材の育成という本取組の目的を達成できるよう、海外公演の条件等を整理し、適切な時期に公募を開始する。	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えたため、令和5年度で反映させる。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	本取組の目的を踏まえ、海外公演の条件等を整理し適切な時期に公募を開始する。	① 執行体制の改善	公演地域の選定要件や、公演規模、公演内容等を事業目的を踏まえて検討し、適切な時期に公募を開始する。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の公募について、広報周知の強化を行い、応募団体数を増やす。
		⑧ その他	公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。